

愛・地球博 理念継承エリア検討委員会

第2回委員会 資料

2. 展開内容の検討

2-1	第1回委員会における意見の整理	1
2-2	アイデアのひろばゾーニング	2
2-3	テーマゾーンの展開	3

前提

健康で精神的な豊かさを楽しみに満ち、県民と共に成長・進化し続ける21世紀型の公園

サステイナブル・パーク
自然の仕組みを学び、地球的課題を克服し、持続可能な社会を創生
博覧会の理念「自然の叡智」

「アイデアのひろば」
博覧会の理念と
成果の継承の場

意見の整理

意見項目	◆博覧会の理念と成果を引き継ぐ展開について	◆具体的な内容
博覧会の理念を継承	<ul style="list-style-type: none"> ●世界との交流、地域発展、市民活動のプラットフォームとして戦略的に展開 ●博覧会理念に相応しい持続可能な地域のモデル、そのシンボルとして市民と共につくる ●子ども達に自然のしくみ、生命の大切さを教える社会性を身につけさせる ●産官学や市民、科学技術交流センターとの連携 	<ul style="list-style-type: none"> ○市民参加のエネルギーを継承する「愛・地球市民センター」構想 <ul style="list-style-type: none"> ・市民参加の継続的な情報・交流センター機能 ・「持続可能な地球社会の創生」に向け、研究・情報発信する「対話と交流」の場 ・「自然との共生」を生かす最先端技術を使用、世界の叡智の結集 ○「愛・地球の日」を制定し、世界と継続的に連帯 <ul style="list-style-type: none"> ・グローバルな視点で「参加」、「対話」と「交流」を促進する市民参加記念フェスティバルを開催 ○博覧会のパビリオン・イベントを再現するのではなく、博覧会の成果を継承していくことができる場 ○環境学習ができる宿泊施設(自然環境学校) ○生命の大切さにかかわる体験学習の場 ○海外の人々や留学生との交流体験
博覧会を記念する・残す	<ul style="list-style-type: none"> ●国際交流など、地域と各国が関わったこと、人々とのつながりを残す ●100年後も博覧会理念を象徴、永久に語り継ぐ ●博覧会を経験した歴史を共有する楽しみを活かす 	<ul style="list-style-type: none"> ○博覧会の国際交流の足跡を残す、人に感動を呼び起こす記念オブジェ <ul style="list-style-type: none"> ・フレンドシップピンをグローバルループをイメージした場に設置 ○記念植樹の情報拠点、ネットワーク型ガーデン <ul style="list-style-type: none"> ・各国、各県を代表する樹木や草花をコモン跡地に植樹し、博覧会の意義、体験価値を再生、千年の森、ワグナリ・マータイ女史の記念樹などとのリンク ・「こいの池」の南側は、開催国、地域を象徴する記念植樹空間とする ○一緒になにかできる場所 <ul style="list-style-type: none"> ・万博記念ホール ○万博記念館や万博を象徴するモニュメント
施設具体化の手法	<ul style="list-style-type: none"> ●公園の目標が「サステイナビリティ」であり、維持管理に費用を要するものは不適 ●技術進歩が著しいため、先端技術のテーマとすると長くもたない 	<ul style="list-style-type: none"> ○パークセンターとの一体整備 ○大規模な建築は不要 ○間伐材の使用促進
その他	<ul style="list-style-type: none"> ●博覧会協会が設置した基本理念継承発展検討委員会とのリンク ●検討エリアを「みんなのひろば」まで拡大 ●「温水プール・アイススケート場」をテーマ展開する場として活用 ●「アイデアのひろば」名称をわかりやすく ●博覧会にあわせて整備されたインフラ(道路、リニモ)を活用 ●博覧会の余韻を活かし、暫定的に人気パビリオンの展示を実施する 	

アイデアのひろば
展開の方針(案)

交流

- ・国際、地域、県民による交流を促進
- ・多様な体験交流の場を通じて社会性を獲得

環境

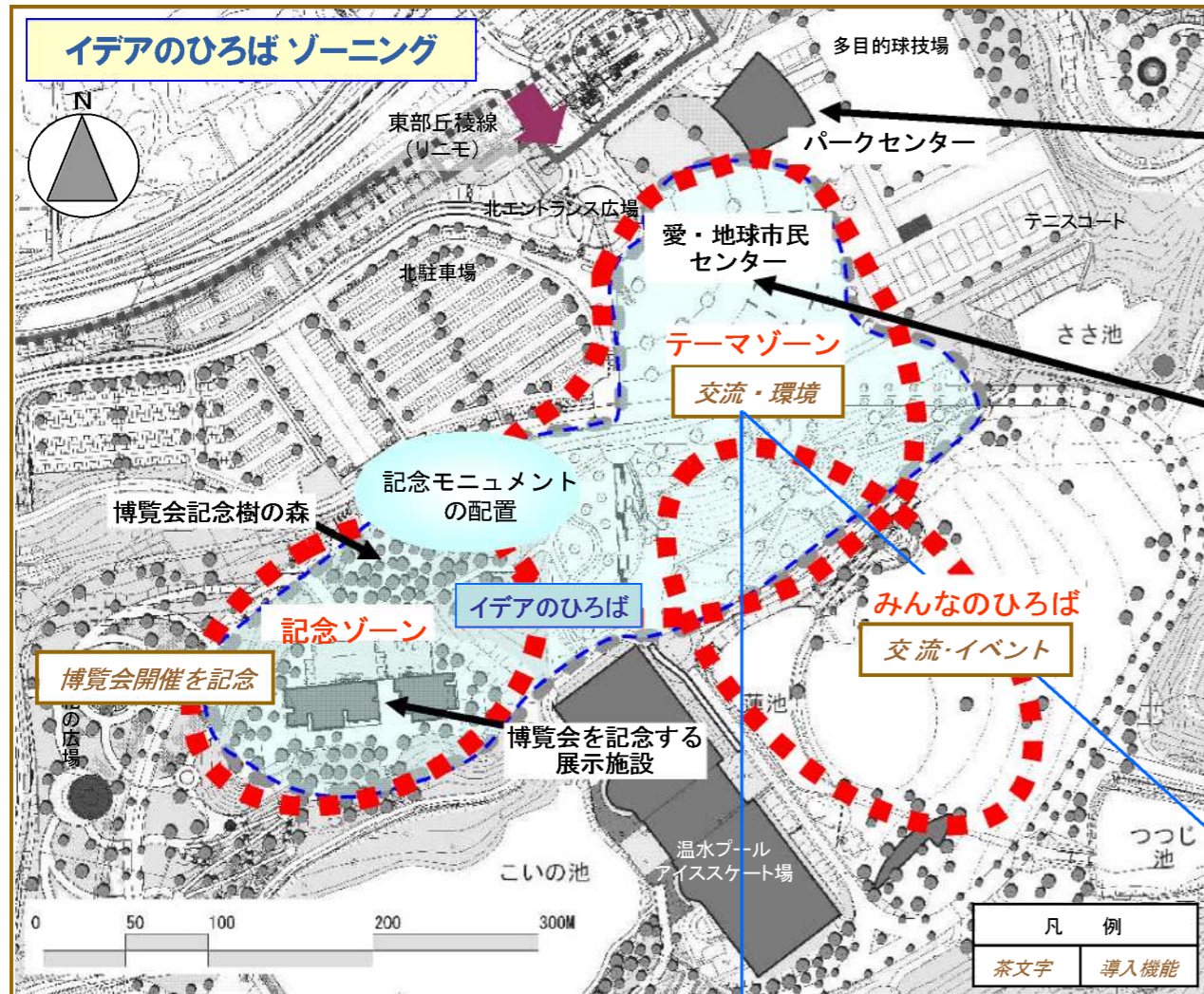
- ・生命の大切さを学ぶ環境学習の場
- ・持続可能な地域形成のシンボルとなる整備

博覧会開催を記念

- ・国際交流の足跡を残す
- ・博覧会を共有した歴史を活かす

県民参加

- ・地域の人々(県民、企業、大学、行政など)と共に創り、成長する公園



パークセンター

- 公園管理運営、県民参加活動拠点、休憩、インフォメーション、飲食、防災支援、屋内運動施設機能の整備
- テーマを象徴するデザイン (環境配慮型、間伐材の利用など)

愛・地球市民センター

- 博覧会を継承するさまざまな市民の交流活動や情報発信の拠点
- テーマを象徴するデザイン (環境配慮型、間伐材の利用など)

周辺の計画や施設

科学技術交流センター構想

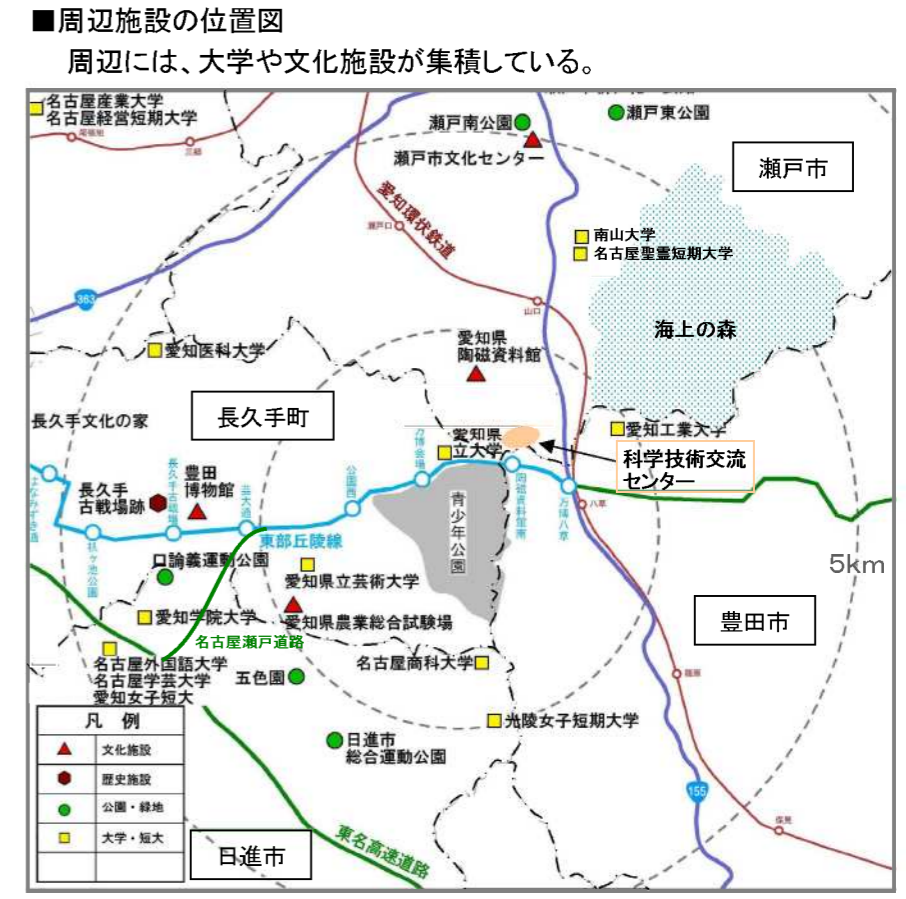
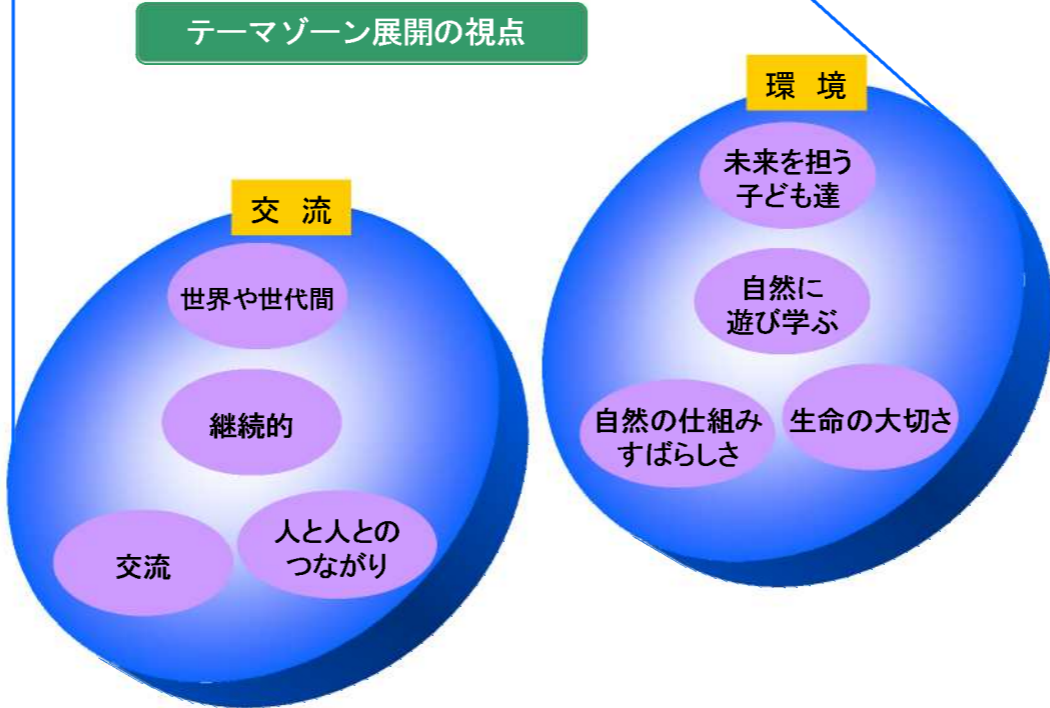
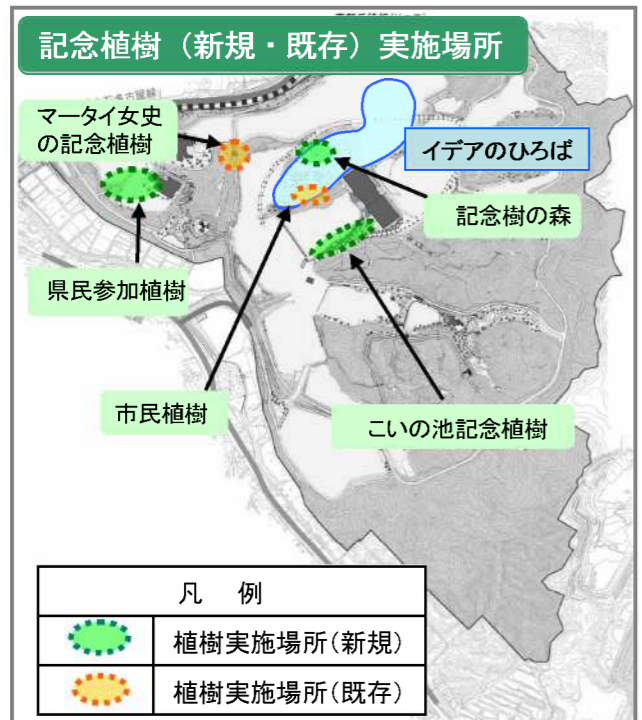
世界に冠たるモノづくりの拠点性を一層高めていくため、ナノテク、IT、バイオの基盤技術に係る研究・実験機能や技術者等の人材育成機能、さらに技術移転・事業化支援機能など、「次世代モノづくり技術の創造・発信」を総合的に行う「知」の拠点づくりをめざす。

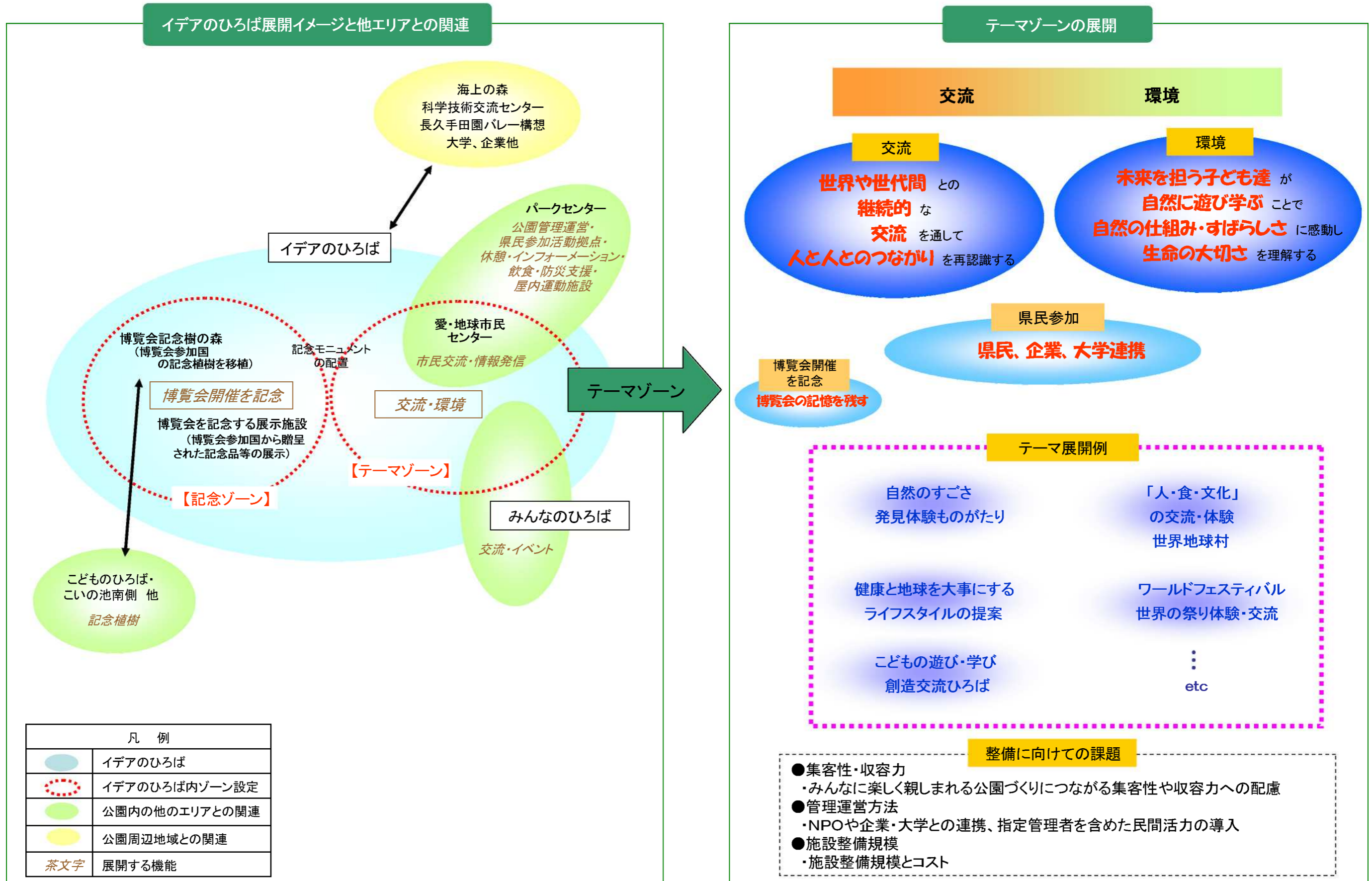
「海上の森」の保全と活用

2005年日本国際博覧会協会の原点である『海上の森』(約510ha)を博覧会の理念や成果を継承した「愛知万博記念の森」として、将来にわたり保全するとともに、人と自然の関わりの在り方の探求を目指し、県民参加のもとに森林や里山に関する学習と交流の拠点づくりを進めている。

長久手田園バレー構想

長久手町は、「都会的ながらもゆとりのある長久手」をつくるため、快適で便利な都市生活を送ることができる一方で、田園環境も楽しめる「農のあるくらし、農のあるまち」を目指した長久手田園バレー構想を推進している。





凡 例	
	アイデアのひろば
	アイデアのひろば内ゾーン設定
	公園内の他のエリアとの関連
	公園周辺地域との関連
茶文字	展開する機能